

# 令和4年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ –スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指します–		
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和5年6月1日	
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、保健センター、公園緑地課、学校教育課			
目標	全ての市民が生涯を通して、気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実や環境整備を進めるとともに、スポーツを通じた地域の交流、コミュニティづくりを推進します。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 子どものスポーツ機会の充実 ○乳幼児期からの発達段階に応じて子どもがスポーツに親しむことができる機会の充実を図ります。</p> <p>(2) 生涯にわたり誰もがスポーツに親しめる機会の充実 ○障がいのある人や、高齢者をはじめとする全ての市民へのスポーツ機会の充実と環境づくりを進めます。</p> <p>(3) 地域スポーツにおける人材の育成 ○ジュニア・アスリートの発掘・育成を進めるとともに、指導者、ボランティアの育成、技術力向上を図ります。</p> <p>(4) 安全なスポーツ環境の整備促進 ○スポーツ活動やスポーツ指導における安全性を確保するため、指導者の技術及び指導力の向上を図ります。 ○既存施設の有効活用、利便性の向上などスポーツ環境の整備を図ります。</p>			

## 2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合					
		説明	19歳以上の市民の方がスポーツを通して健康づくり、体力づくりを促進するため、数値指標とする。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	-	44.60	47.30	50.00	52.70	55.40
		実績値	45.20	30.90	85.04	86.00	88.20	
	指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数					
		説明	障がい者がスポーツに親しめる機会を創出する目的で指標とする。令和4年度は、障がいのある方も参加され、元気・健康フェア、ロードレース大会を開催することができた。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	160	190	220	250	280	300
		実績値	162	95	0	0	206	
	指標 3	指標名	スポーツ施設利用者の満足度					
		説明	市民ニーズを把握するとともに、市民サービスの向上を図る目的で指標とする。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	64.00	67.50	71.00	74.50	78.00	80.00
		実績値	55.40	50.10	50.50	46.60	52.60	
	指標 4	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数					
		説明	気軽に運動に親しみ健康づくりに取り組む機会を増やすことを目的に、令和4年度は自治組織14団体でラジオ体操を実施しようとしたところ、コロナ禍により12団体の実施となったが、最大の参加団体数となった。					
単位		人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0	0	13	15	17	19	
	実績値	8	11	8	10	12		
指標 5	指標名	ロードレース大会参加申込者数						
	説明	目標値: 申込定員数に対し、100%の参加申込者数とする。 実績値: 令和4年度の申込定員数は1,690人となった。						
	単位	人						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	1,960	
	実績値	1,912	1,897	0	0	1,236		

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	609,369	79,536	57,701	126,161	76,210	81,222
	人件費	26,718	37,355	40,272	35,423	29,169	40,033
収入	特定財源	559,149	17,709	1,430	54,666	3,212	4,796
	一般財源	76,938	99,182	96,543	106,918	102,167	116,459

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	ロードレース大会	新型コロナウイルス感染症が年明けに拡大する傾向を考慮し、日程を1か月前倒しし、令和4年12月に3年ぶりに開催した。メイン会場をふじみ野市第2運動公園周辺に変更し、コースを新設するとともに女子40歳以上の部を新設した。	市民の日頃からの練習成果を発揮する機会を設け、市民のスポーツを行う意識の向上に寄与した。また、令和4年度は東京オリンピックに出場されたト部蘭さんやコモディイダ駅伝部所属ランナー等に参加いただき、トップランナーと触れ合う機会を創出した。	スポーツ大会事業
取組②	安全なスポーツ環境の整備促進	指定管理者制度により、スポーツセンターをはじめとするスポーツ施設の管理運営を行っている。令和4年度においても毎月1回モニタリングを行うとともに随時、現地確認し、改善を行った。また、令和4年度は、駒林体育館の床修繕、トイレの洋式化等を行った。	指定管理者と毎月1回モニタリングを行うとともに、随時、現地確認し、改善を行ったことにより安全なスポーツ環境の整備につなげることができた。令和6年度は駒林体育館の大規模修繕を行い、令和5年度にその設計業務を実施することとした。	スポーツ推進事業 スポーツ施設管理運営事業
取組③	ラジオ体操事業	健康的な生活習慣を推進するため、ラジオ体操の普及に努め、「イオンdeラジオ体操」を既に実施していたイオン大井店に加え、イオンタウンふじみ野において初めて開催した。また、自治組織向けにラジオ体操開催の支援を行った。	イオンdeラジオ体操は、イオン大井店で930人が参加し、イオンタウンふじみ野は、延べ300人が参加した。ラジオ体操を実施した自治組織数は12団体で、延べ4,151人が参加し、健康増進につなげるとともに、外に出て人と触れ合う等、安否確認の一助となった。	スポーツ推進事業
取組④	スポーツ推進委員地域派遣事業	市内小中学校や自治組織、公民館事業、指定管理者事業等にスポーツ推進委員を派遣し、誰もが楽しめる軽スポーツ（ポッチャ等）の普及を進めた。また、自治組織で開催されるグランドゴルフ大会の支援やラジオ体操の指導等にスポーツ推進委員を派遣した。	地域への派遣回数は22回で、そのうちポッチャに関する派遣回数は11回であり、誰もが楽しめる軽スポーツの普及に努めた。また、自治組織が実施するラジオ体操へ9回派遣し、ラジオ体操の普及を行った。	スポーツ推進事業
取組⑤	地域連携事業	スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブふじみ野ふあいぐるクラブ、指定管理者と連携し、各種事業を展開した。また新たに、イオンタウンふじみ野と連携し、ふじみ野市の文化・スポーツの魅力を発信・発信する「スポカル広場」を開催した。	スポーツイベントは計20回、開催することができ、市民が気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実を図った。スポカル広場では、市内文化・スポーツ団体における成果・発表の場として、初めて開催することができた。	スポーツ推進事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	令和4年度は、3年ぶりに「元気・健康フェア」「ロードレース大会」「入間東部地区駅伝競走大会」を開催し、参加した多くの方から楽しんで参加できたなどの感想をいただき、笑顔があふれる事業の展開を行うことができた。
おおむね順調	また、スポーツにおけるトップチーム・トップアスリートと触れ合うことのできる各種事業を実施し、子どもの夢を育むことや市民のスポーツを行う意識の向上に寄与した。
行政資源の活用	新たに、ふじみ野市の文化・スポーツの魅力を発見・発信する「スポカル広場」を実施し、市内文化・スポーツ団体の存在や各団体における成果発表の場として開催した。
おおむね適切	そして、全ての市民が生涯を通して、気軽にスポーツに親しみ健康づくりに取り組むことができる機会の充実や環境整備を進めるとともに、スポーツを通じた地域の交流、コミュニティのづくりの推進を図るため、令和5年度からスタートする「第2期スポーツ推進計画」を策定し、計画における将来像を「スポーツに出会い 楽しみ つながるまち ふじみ野」とした。
取組の有効性	
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ推進事業		前年度の方向性
			拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～	
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー	
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費		
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	日常生活に運動を取り入れる習慣をつくり、健康で生き活きたした生活が送れるよう市民の年齢、適正、健康状態等に応じたスポーツ教室や大会を開催し、スポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちづくりを目的とする。	
	事務事業の経緯	スポーツ基本法第4条の規定（地方公共団体の義務(自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。))及び将来構想「元気・健康プロジェクト」並びにふじみ野市スポーツ推進計画に基づき、各種事業を実施している。令和元年度から、既存の「スポーツ推進事業」に「スポーツ団体支援事業」「人間地区社会体育推進事業」「ラジオ体操普及事業」を統合した。	
	事務事業の概要	多様な市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる地域づくりを推進し、スポーツを通じた地域の活性化を図ることを目的として、幼児から高齢者、障がいのある方まで各世代が参加できる多様なスポーツ教室を指定管理者、スポーツ協会及びスポーツ推進委員と連携し、開催している。さらに、自治組織と連携して、地域でラジオ体操を行うことで、身近な場所での運動機会を提供している。競技スポーツの育成環境や支援体制の更なる充実を図り、スポーツに対する興味関心を高めるため、スポーツ団体の育成を行う母体への支援を行う。さらに、スポーツで活躍している市民に対し、交通費及び宿泊費の一部を補助し、トップアスリートやジュニアアスリートの輩出を目指している。	
	令和4年度の主な取組	【人間東部地区駅伝競走大会】 2年続けて、大会中止となっていることから、令和4年度は、規模の縮小を含めて新型コロナウイルス感染症に対応した開催の実現可能な方策を検討する。 【地域連携事業】 ラジオ体操については、新たにイオンタウンふじみ野で8月に実施する。また、イオンタウンふじみ野、ふじみ野市スポーツ協会、ふじみ野ふあいぐるクラブと連携し、ふじみ野市のスポーツ・文化の魅力を発信する事業を新たに展開する。	

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.72	1.70	1.90
		人件費	13,671	13,541	15,102
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	506	528	506
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	14,177	14,069	15,608	
事業費	報酬※	33	216	198	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	1,365	197	1,010	
	委託料	1,959	2,178	1,978	
	使用料及び賃借料	8	232	196	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	12,178	9,034	8,606	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	909	1,612	2,138		
	支出合計	30,629	27,538	29,734	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	2
	一般財源	30,629	27,538	29,732	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		268	241	257	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自治組織ラジオ体操実施団体数		
	説明	目標値：前年度実績より2団体増（東西各1団体増） 令和元年度：11団体 令和2年度：8団体 令和3年度：10団体 令和4年度：12団体 ※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3団体が中止		
活動	単位	団体		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	10	12	14
	実績値	10	12	
指標 2	指標名	障がい者のスポーツ事業への参加者数		
	説明	目標値：令和5年度の目標（300人）を達成するために、段階的に参加者を増やす。（将来構想策定時に設定） 対象事業：元気・健康フェア、スポーツ推進委員派遣事業、ロードレース大会		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	250	280	300
	実績値	0	206	
指標 3	指標名	週1回以上スポーツをする19歳以上の市民の割合		
	説明	目標値：令和5年度の目標（55.4%）を達成するために、段階的に割合を高める。（スポーツ推進計画策定時に設定） 実績値：指定管理者による有料スポーツ施設の利用者へ無作為に実施した利用者満足度調査に基づく。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	50.00	52.34	55.40
	実績値	86.00	88.20	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>1 シニア元気塾 （1）実施：8日間（9月1・8・15・22日・ 3月3・10・17・24日）（2）参加人数：延べ201人</p> <p>2 スポーツ推進委員地域派遣事業 （1）派遣回数：22回（2）派遣内容：ポッチャ、グラウンド・ゴルフ等</p> <p>3 イオンdeラジオ体操（イオンタウンふじみ野で実施は新規） （1）イオン大井店 実施：7日間（7月26日～8月1日） 参加人数：延べ930人 （2）イオンタウンふじみ野店 実施：7日間（8月2日～8月8日） 参加人数：延べ300人</p> <p>4 自治組織向けラジオ体操の支援 （1）実施自治組織数：12団体（2）参加人数：延べ4,151人</p> <p>5 ふじみ野発見・発信スポカル広場 （1）実施：5回（4月24日 6月5日 8月20日 11月19・20日 12月18日） （2）実施内容 ポッチャ・モルック・BMX等の体験、ダンス、コーラス等の市民団体による発表等。</p> <p>6 第54回入間東部地区駅伝競走大会 （1）実施：2月19日 （2）参加チーム数66チーム（応募67チーム）</p> <p>7 元気・健康フェア （1）実施：6月5日 （2）参加人数：224人</p> <p>8 トップチーム・トップアスリート等を招いた事業 実施：T.T彩たま（卓球）、埼玉西武ライオンズ（野球）、浦和レッドダイヤモンズ（サッカー）、川本ゆかり氏（新体操）、ト部蘭氏（陸上競技）、高平慎士氏（陸上競技）、大東文化大学陸上競技部、コモディイイダ駅伝部、ゼンコービームス（ゴールボール）</p> <p>【効果】ラジオ体操や元気・健康フェア等、誰もが参加できる事業を実施することができた。また、イオンタウンふじみ野と連携し、市の文化・スポーツの魅力を発見・発信する「スポカル広場」を新たな事業として開始した。第54回入間東部地区駅伝競走大会では、幹事市として開催し、3年ぶりの大会を多くのランナーに楽しんでいただくことができた。</p>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	3年ぶりの開催となった「元気・健康フェア」、「第54回入間東部地区駅伝競走大会」については、参加していただいた多くの方から楽しんで参加できたなど、笑顔があふれる事業の展開を行うことができた。また、ふじみ野市の文化・スポーツの魅力を発見・発信する「スポカル広場」を新たに実施することで、市内文化・スポーツ団体の存在や各団体の成果の発表の場として開催した。
中長期的方向性	今後については、再開した事業の課題を洗い出すとともに、第2期スポーツ推進計画が令和5年度からスタートすることから、計画の将来像である「スポーツに出会い 楽しみ つながるまち ふじみ野」に向けて事業を推進していく。
拡充	また、引き続き新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、事業の実施をしていく。

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		スポーツ大会事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト		元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー		
予算費目		一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費		
所管部課		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間		昭和43年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		スポーツ基本法、文化・スポーツ振興条例、ふじみ野市スポーツ推進計画		
事務事業の内容	事務事業の目的	幅広い年代、市内各地域が参加できる競技スポーツイベントとコミュニティ・スポーツイベントを開催することで、市民にスポーツ活動の楽しさと健康増進、体力の向上、コミュニティの推進を図る。また、競技スポーツ人口の増加を目指しながら、スポーツを通じて青少年から高齢者までの生きがいづくりの一助を担う。		
	事務事業の経緯	令和元年度から、「新春ロードレース大会事業」「市民スポーツフェスティバル事業」「市民スポーツ大会事業」を統合し、「スポーツ大会事業」となり、継続して当該事業を行う。		
	事務事業の概要	「新春ロードレース大会」は、毎年1月に開催し、老若男女問わず参加することができ、申込者数1,800人を超える市内最大のスポーツ大会である。平成26年度から市主催から実行委員方式へ移行して実施している。 「市民スポーツフェスティバル」は、毎年10月から11月に、自治組織連合会を中心とした東地域と西地域の実行委員会に事業委託をし、地域スポーツの祭典として、開催している。 「市民スポーツ大会」は、毎年8月から翌年3月までの間に、ふじみ野市体育協会主催で、さまざまな競技スポーツを市民が自ら運営する大会である。		
	令和4年度の主な取組	【ロードレース大会】 令和4年度は、通常開催時期の1月が2年続けて新型コロナウイルス感染症の感染者数がピークを迎えていることから、12月開催を計画する。なお、イオンタウンふじみ野がオープンしたことに伴い、第2運動公園周辺コースに変更を行う。 【市民スポーツ大会・市民スポーツフェスティバル】 両事業ともに、開催時期、開催方法について、新型コロナウイルス感染症に対応した開催方法を検討する。市民スポーツフェスティバルについては、東西地域に分けて開催を予定している。（4年に1度、夏季オリンピックの開催年には、オールふじみ野スポーツフェスティバルを開催）		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	0.50	1.20
		人件費	7,154	3,983	9,538
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	506	528	506
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		7,660	4,511	10,044	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	1,209	1,958	5,900	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	190	564		
支出合計		8,869	6,659	16,508	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,869	6,659	16,508	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		78	58	143	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ロードレース大会参加申込者数		
	説明	目標値：申込定員数に対し100%の人数 実績値：コース変更に伴い、10kmがなくなったため、申込定員数は1,690人となり参加申込者の割合は73%となっている。		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1,960	1,960	1,960
	実績値	0	1,236	
指標 2	指標名	市民スポーツフェスティバル参加者人数		
	説明	目標値：前年度実績10%増（令和3年度目標値は平成30年度実績4,528人から算出） 実績値：令和2、3、4年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止のため0人		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	4,980	4,980	4,980
	実績値	0	0	
指標 3	指標名	市民スポーツ大会の参加者数		
	説明	目標値：前年度実績1%増（大会参加者数） 実績値：実施予定だった20競技種目中19競技種目を実施。実施した競技種目については、基本的な感染対策の講じるとともに、大会の形式を見直すなど工夫を凝らして実施。1競技種目については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	4,209	4,209	4,520
	実績値	1,876	4,476	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>1 ロードレース大会 新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間中止となっていたが、感染症が年明けに拡大する傾向がみられることから、日程を1か月前倒しし、令和4年12月11日（日）に3年ぶりに開催した。メイン会場をふじみ野市第2運動公園周辺に移しコースを新設するとともに、女性にも参加しやすい大会となるよう女子40歳以上の部を新設した。ゲストランナーとして、東京2020オリンピック競技大会の女子陸上競技1,500mに出場したト部蘭選手をはじめ、コモディイイダ駅伝部所属ランナー、大東文化大学陸上競技部の選手に参加いただき、トップランナーと触れ合う機会を創出した。</p> <p>2 市民スポーツ大会 実施予定だった20競技種目中19競技種目を、令和4年8月から令和5年2月かけて実施した。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、大会形式だけでなく、広く市民を集めた講習会形式での開催も検討し、可能な限り実施することができた。 総合開会式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。</p> <p>3 市民スポーツフェスティバル 令和4年7月27日（水）自治組織連合会が協議を行い、新型コロナウイルス感染症状況を考慮し中止を決定した。</p> <p>【効果】 ロードレース大会や市民スポーツ大会は、子どもから大人まで幅広い年齢層が一堂に会し、スポーツを行い、市民の日頃からの練習成果を発揮する機会や、新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツを行う事が出来なかった市民のスポーツを行う意識の向上に寄与している。</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	1 ロードレース大会 指定管理者と連携を図り、より大会を盛り上げる企画を計画するとともに、PRを充実させ、参加者数の増大を目指す。コース周辺事業者、近隣住民と調整、協力依頼を行い、より安全な大会運営に努める。
中長期的方向性	2 市民スポーツ大会 第2期スポーツ推進計画が令和5年度からスタートすることから、パラリンピック競技大会の正式種目でもあるポッチャの部門を新設し、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めるとともに、関係機関と協力体制を築き、スポーツへの参加を啓発し、参加者の拡充に努める。
拡充	3 市民スポーツフェスティバル 新型コロナウイルス感染症の影響により3年間中止となっており、感染症対策や実施時期の見直しも含め、事業実施のための方法を引き続き検討する。

# 令和4年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業		前年度の方向性 拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト		
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～	
	施策	07 スポーツ ースポーツを通して市民が元気にいきいきと暮らすことのできるまちを目指しますー	
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費		
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間	昭和50年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等	スポーツ基本法、学校体育施設の開放に関する規則、学校体育施設開放運営委員会要綱、学校運動場照明施設の設置及び管理に関する条例、施行規則・ふじみ野市立スポーツセンター条例、施行規則		
事務事業の内容	事務事業の目的	生涯スポーツの普及及びスポーツ活動の場の確保、スポーツ施設の整備・充実を図り、利便性のあるスポーツ施設として市民に提供する。管理運営については、指定管理者制度を活用する。	
	事務事業の経緯	平成23年度に指定管理者の公募を行い、平成24年度より、スポーツセンターをはじめとしたスポーツ施設の管理運営を指定管理者制度により実施している。 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出している。	
	事務事業の概要	平成24年度から指定管理者制度により(運動公園等含む)管理の移行し現在に至る。 毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。 聖路加テニスコート、ゲートボール場等は、定期的に巡回を行っている。 学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で市民に開放。毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置している学校体育施設開放運営委員会で学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。	
	令和4年度の主な取組	【駒林体育館】 駒林体育館については、令和3年度に非構造部材の耐震化工事を実施した。令和4年度には、床の修繕を行う。床以外の老朽化が進んでいるため、照明のLED化、トイレの洋式化等改修の検討を進める。 【指定管理者】 令和2年度が新たな契約期間の初年度で、市主催事業の一部を指定管理者が企画運営することとなっていたが、コロナ禍で事業が中止になっており事業の継承ができていないため、令和4年度より、実施する事業の継承を行っていく。また、トップアスリートを招いた教室を行い、市民がスポーツに触れ合う機会の提供を行っていく。	

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.20	0.80	1.30
		人件費	9,538	6,372	10,333
	再任用職員	従事人数(人)	0.80	0.80	0.80
		人件費	4,048	4,217	4,048
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費計		13,586	10,589	14,381	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	407	8,396	5,954	
	委託料	51,599	49,129	54,404	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	52,261	2,145	0	
	負担金、補助及び交付金	10	10	10	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4,222	911	264		
支出合計		122,085	71,180	75,013	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	2,000	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	987	1,212	1,012
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	37,559	0	3,542
		その他	16,120	0	240
一般財源	67,419	67,968	70,219		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		589	596	607	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	スポーツ施設の利用率		
	説明	目標値：前年度実績2%増（令和2年度より設定） 実績値：総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの6施設分の平均利用率		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	53.30	54.40	55.50
	実績値	58.15	55.58	
指標 2	指標名	スポーツ施設利用者の満足度		
	説明	目標値：令和5年度の目標(80%)に合わせ満足度を段階的に高める。（将来構想策定時に設定） 実績値：指定管理者が実施しているアンケート調査で満足と答えた人の割合。（回答数：277人）総合体育館、上野台体育館（トレーニング室除く）、駒林体育館、弓道場、テニスコート、多目的グラウンドの利用者に対してアンケートを実施。（満足、やや満足を合わせると令和3年度実績は82.6%）		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	74.50	78.00	80.00
	実績値	46.60	52.60	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【学校体育施設開放事業】 小中学校の体育施設の開放においては、学校行事に支障のない範囲で貸出しを行うため、毎月1回、翌月分の利用を各学校ごとに設置されている学校体育施設開放運営委員会で、学校行事や他団体活動が重ならないよう調整会議を行っている。令和5年度に向けて空調設備の利用方法について教育委員会と協議を行い、令和5年5月から利用開始となる。 幼児から高齢者、障がいのある方など、市民のスポーツ推進を図る上で、地域でスポーツ活動ができる場所の提供として欠かせない事業となっている。</p> <p>【駒林体育館】 床の修繕、駐車場に設置していた倉庫の撤去、トイレの洋式化を行った。特にトイレの洋式化については、国の地方創生臨時交付金を活用し、財源の確保に努めた。</p> <p>【指定管理者】 事業については、T.T彩たまや浦和レッズ、西武ライオンズ等のトップチームをはじめ、陸上競技ではオリンピック出場経験のある高平氏、卜部氏のトップアスリートを招いた事業を行うことで、市民にトップレベルのスポーツに触れ合う機会を創出することができた。また、定期事業として、若年層向けのダンスや高齢者向けの足腰元気、健康運動体力測定等、対象のニーズに合った事業を実施することで、自身の運動能力の適性や状態を知るきっかけづくりを作ることができた。 施設管理については、随時施設点検を行うとともに、必要に応じて修繕を実施した。また利用者の要望の中でも、すぐに改善可能なものについては、対応を行った。</p>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	平成29年度に総合体育館の整備が完了し、平成30年度には、テニスコートをクレーコートから砂入り人工芝へリニューアルし、アーチェリーも兼用できる遠的を備えた弓道場を新たに整備したことにより、スポーツゾーンの整備が完了した。令和5年度は駒林体育館の改修工事の設計を行い、令和6年度に工事を計画している。今後はこれらのフィールドを今まで以上にご利用いただき、併せて、誰もが住み慣れた地域で継続してスポーツに親しめるよう、市を始めとしたスポーツ協会、指定管理者等による多種多様な自主事業の実施が必要である。毎月実施している学校体育施設開放運営委員会において、各学校開放委員長に利用公平性の確保について周知徹底をしていく。また、安全な状態でスポーツが推進できるよう努め、引き続き、施設利用率がアップするよう、更に市民のスポーツの推進を図る。
中長期的方向性	
継続	